

隊友会県央支部総会・懇親会を支援

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井一海尉）は、4月15日（金）海上自衛隊厚木基地において実施された隊友会県央支部（支部長 関 隆三氏）が実施する隊友会県央支部総会を支援した。本総会は隊友会県央支部が毎年実施しているものであり、厚木基地での実施は3年ぶりとなった。

厚木募集案内所は隊友会からの依頼に基づき、基地との調整及び基地内での人員輸送を支援した。今年度は、神奈川地方協力本部長（松田一海佐）を講師として招聘し「潜水艦部隊の概要について」と題した講話が実施され、参加者はめったに聞くことがない潜水艦部隊の組織や艦内生活などの話に、大いに興味を示していた。参加者からは「私も潜水艦に乗りたかった」といった感想や、「今後の潜水艦の動向についてどう考えるか？」等多数の質問を受け、予定した質疑応答の時間を超過するほどの盛況ぶりであった。

隊友会県央支部には厚木募集案内所の活動に対して募集広報をはじめ、各種協力をいただいております。引き続き良好な関係性を維持する必要があります。

厚木募集案内所は、「今後も、協力団体と密接に連携し、情報交換や協力態勢を確立すること、効果的な募集広報に努力していく」としている。



参加者に講話する神奈川地方協力本部長松田一海佐

横浜駐屯地最先任上級曹長表敬

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 日比野准陸尉）は、4月18日（月）、横浜駐屯地最先任上級曹長（長澤准陸尉）を表敬訪問し、縁故募集情報提供の依頼及び自衛官の募集に関する説明を行った。

特に、少子化等の影響による厳しい募集環境を克服するための縁故募集の重要性を理解して頂くと共に、募集ポスターの掲示及び駐屯地納涼祭での募集広報活動等の協力を依頼した。

また、最先任上級曹長も、「自分の息子を是非入隊させたい」と言う一幕もあり、厳しい募集環境及び募集の重要性について認識された。最後は、最先任上級曹長と優秀な人材の獲得のための固い握手を交わした。

横浜中央募集案内所は、「あらゆる場を通して募集の重要性を発信し、厳しい募集環境の克服に努めたい」としている。



横浜駐屯地最先任上級曹長（右）



横浜駐屯地正門における自衛官募集ポスター掲示

神奈川大学で自衛隊説明会を実施

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 服部三陸佐）は、4月18日（月）、神奈川大学横浜キャンパスにおいて、自衛隊職業ガイダンスを実施した。

神奈川大学は公務員への就職に力を入れており、毎年多数の入隊者を輩出しており、安定した入隊者の確保に期待する大学のひとつである。当日は、就職活動中の4年生だけでなく、ポスター等で興味を持った学生が多数来場し、自衛隊の活動や勤務内容の説明に熱心に耳を傾けていた。参加した大学生からは「漠然としか知らなかった自衛隊の活動について知ることができた」「自衛隊の主催するイベントに参加してみたい」との声が聞かれ、本説明会の目的は達成できた。

横浜出張所は、「今後も学校と密接に連携し、自衛隊の活動を含めた募集広報を継続し、志願者の獲得及び防衛基盤の育成に努めていきたい」としている。



対象者に説明する所長及び広報官